



坂田血管外科クリニック  
(大阪市中央区)

院長 坂田雅宏さん(49)

脚の静脈がミニマスのように浮き出て、小さな瘤ができる方を見たことがあります。病名は下肢静脈瘤と言います。命にかかる病気ではありませんが、脚のむくみ、だるさ、脚が上がらない、就寝時のこむら返りなどの症状が出ます。

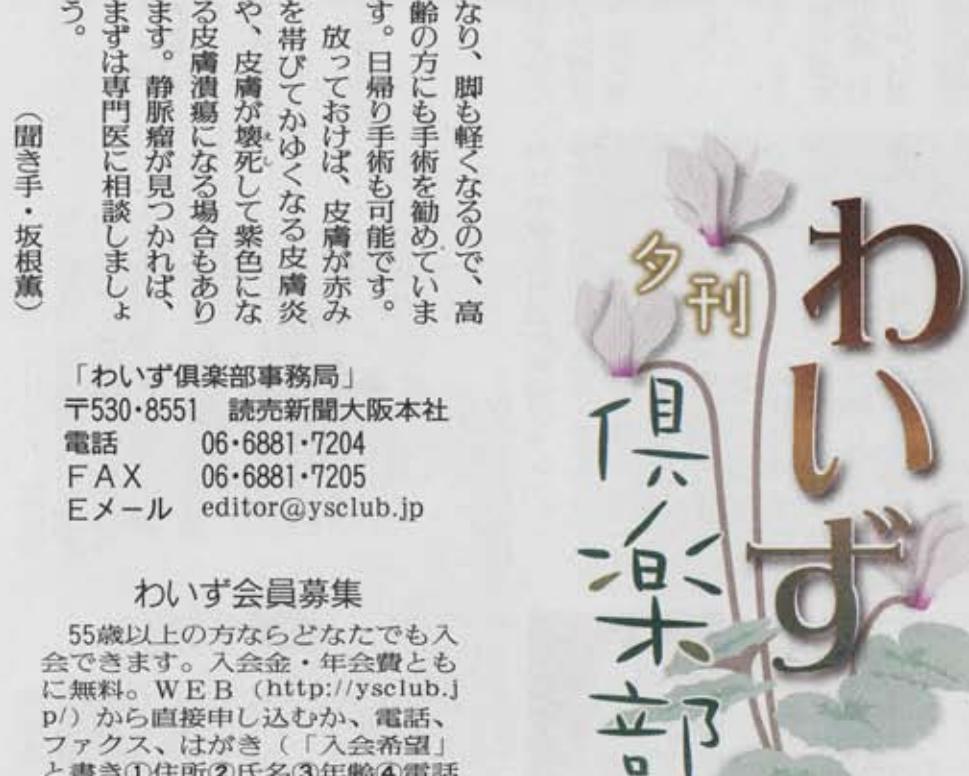
原因は特定されませんが、加齢、長時間の立ち仕事、肥満、妊娠などにより起こる人が多いようです。

それ、くみ上げられた血液が静脈瘤から足先に向かって逆流し、症状が出てきます。若い人にも見られますが、60代なら約60%、70代なら約70%と、高齢になるほど発症率も高くなり、症状も重くなります。

治療前に、超音波検査で、逆流の状態や静脈瘤の分布を特定し、軽度なら、医療用ストッキングを着用して症状を抑えます。

重症の場合は、静脈瘤をつたり、レーザーで焼灼します。手術でむくみ、だるさ、こむら返りなどの症状がなく

## 下肢静脈瘤 重症なら手術を



「わいば俱楽部事務局」  
〒530-8551 読売新聞大阪本社  
電話 06-6881-7204  
FAX 06-6881-7205  
Eメール editor@ysclub.jp

### わいば会員募集

55歳以上の方ならどなたでも入会できます。入会金・年会費ともに無料。WEB (<http://ysclub.jp/>) から直接申し込むか、電話、ファックス、はがき（「入会希望」と書き①住所②氏名③年齢④電話番号⑤ファックス番号を明記）で入会申込書を事務局へご請求下さい。電話受け付けは日曜祝日を除く午前10時～午後5時。

は脚の筋肉で心臓にくみ上げられます。静脈瘤では、静脈内の逆流を防いでいる弁が壊れます。

(聞き手・坂根薫)